

様へ

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日・手術前日	当日(術前)	当日(術後)
目標	手術に対する不安を伝えることができ、最小限となる		性器出血が少量で新たな出血が見られない 創部痛(下腹部)が緩和し、苦痛が最小限となる
検査	身長体重を測ります		 採血と尿の検査があります 
食事	制限はありません 食品アレルギーは 申し出てください 夕食以降OS1を飲んで いただきます	 絶飲食です	朝食から全粥食となります 朝食後退院となります
	朝食は 自宅で  		
処置・観察	リストバンドを装着します (退院日まで装着します)  体温・脈拍・血圧・ 酸素飽和度を 測定します 必要時、 診察を行います	手術室で尿の管を 挿入します 	術後は体温・脈拍・血圧・ 酸素飽和度を頻回に 測定します 
			診察があります 創の状態を確認します 腔内のガーゼをとります  歩行できれば尿の管を 抜きます 退院時にリストバンドを 外します
注射・内服	 持参薬、お薬手帳を 看護師にお渡し ください		 手術後の点滴が あります  点滴が朝まで あります * 痛み・むかつきなどが あれば看護師に申し出て ください
行動	 制限はありません 弾性ストッキングの サイズを合わせます オムツ・ナプキンを 預かります  シャワーできます	 洗面後、手術着に 着替えてください 弾性ストッキングを はいてください	 床上安静となります 膝の曲げ伸ばし足首の 運動は行ってください  (許可があれば) 座位ができます  可能なら朝の診察で 歩行できます  全身を清拭します 入浴は次回受診まで できません
説明	 医師より説明 ・手術と治療計画に ついて  必要時 麻酔科医師より説明 麻酔について  看護師より説明 ・入院生活について  薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について	 看護師より説明 (家人の方に) ・手術室の場所と 入室方法について	 医師より説明 ・退院後の治療に ついて  看護師より説明 ・早期離床について 退院後の療養生活 について

* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い、計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

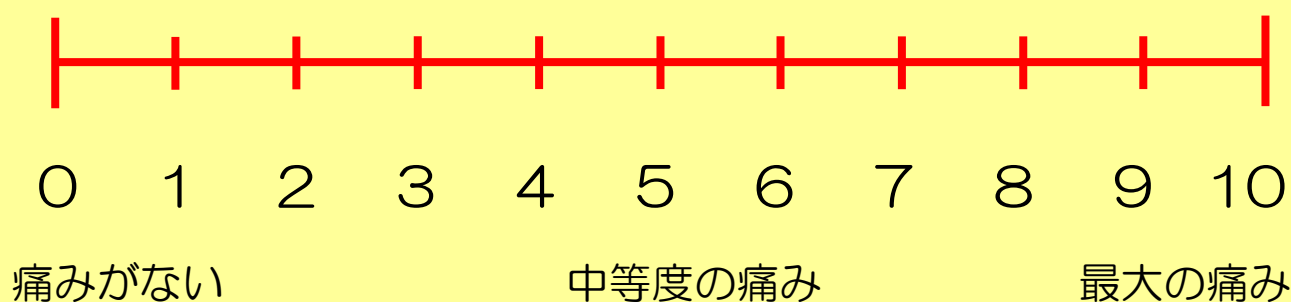
手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください

10 を最大の痛みとした場合
今の痛みはどのあたりですか



APS チームがサポートします。

よろしくお願いします。

